

令和8年度第1号会報発行にあたり
全国の防災エキスパート（高速道路サポーター）会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、新潟支部長 澤田石様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。
（事務局本部）

「備える行動と意識を大切に！」

防災エキスパート新潟支部長

(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟

代表取締役社長 澤田石 貞彦

近年は、地震動や気候変動の激甚化によりインフラに支障をきたすケースが多くなり、国民の生活・経済に多大な影響を及ぼす状況に至っている。能登半島地震や令和8年1月～2月の大雪も記憶に新しいところである。

高速道路の維持管理に携わる我々防災エキスパートは、これらの災害に直接かかわることもあろうと思われませんが、様々な災害発生を想定した事前の取り組みについても思いを馳せることも必要である。

今回、新潟県における話題から災害への備えの大切さについて報告する。

15年前の東日本大震災においては東京電力福島第一原発が津波により電源喪失したことに起因し、炉心溶融によって大量の放射性物質が放出され、未だに避難を余儀なくされている者もいる状況もある中、福島原発は廃炉に向けた動きが進められている。一方、一時全ての運転を停止していた国内の原発は、安定的な電力供給の確保の観点から各地の電力会社は原発の再稼働を進め、新潟県にある柏崎刈羽原子力発電所は、東京電力としては東日本大震災以降初めて稼働すべく取り組みが続けられ、4月16日からは営業運転を開始した。

東日本大震災では、津波に伴う電源喪失という原発にとっての緊急事態を経験し、この柏崎刈羽原発は様々な対策を講じている。防災との観点から、当該施設を視察しその状況から、我々防災エキスパートとして意識すべきことに触れてみたいと思う。

2月5日に視察したが、まさしく、本格稼働にむけた動きの途上で、制御棒の稼働に不具合を生じ運転を中止しその原因を探っている最中の視察であった。

しかしながら、所長（福島第一原発事故で当時の吉田所長のもとで事故対応を経験した方）の判断のもと、発生した不具合を慎重に原因を追究していく姿勢を感じた。

様々なリスクに対する事前の準備や指令室における人材育成の状況等を学ぶことができた。

特に電源喪失や放射性物質の外部流出、その軽減に向けた対応等を確認できた。過去に経験したリスク、想定されるリスクに対して万全の備えをして、発電の再開にこぎつけている。特に東日本大震災時の福島原発の対応した事務所内では情報の



共有が図られなかった経験から、柏崎原発の訓練では常に情報を発信している者を意識するような動きに注目し、そのような防災訓練がなされている。

東日本大震災から2年後に東北地方整備局が実体験に基づき書籍『災害初動期指揮心得』の冒頭には、“備えていたことしか役に立たなかった。備えていただけでは、十分ではなかった。特に頭著だったのは、国交省の防災ヘリを迅速に飛行させることは事前の備えがあつてできたことではあつたが、飛行位置（情報収集箇所）を変えていれば、更に被災状況を抑えることもできたとの考えから、その点から、「十分ではなかった」とある。私も防災訓練等の場で、この言葉を引用し、訓練の大切さを述べ、想像力を働かせ準備の訓練をして備えておくことを伝えている。

防災時の迅速な対応に慣れる・訓練も非常に大切な取り組みであるが、災害を想定し事前の準備・備えをしていくことも大切であり、我々防災エキスパートは、災害時の対応や事前の準備をしてきた経験を若手に伝承していくことも大切であろう。

柏崎刈羽原発の視察通じて、ことあるごとに災害に対して想像力を働かせ、備えを怠らない意識を伝承していく必要があること再確認し、今回の報告といたしました。

支部活動状況

令和8年2月～5月に報告があった支部の活動状況について情報共有します。

東北支部

活動名	支部会議
実施日	令和8年3月2日（月）
場所	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北 本社会議室

【内容】

- ・ 防災エキスパート 全国の活動状況
- ・ 東日本高速道路株式会社 防災への取組み
- ・ 東日本高速道路株式会社 東北支社の現況
- ・ 東北支部 R7年度活動報告及びR8年度活動計画

- ・ 講演会「来るべき巨大地震に備えて」
- ・ 仙台管区気象台 地震津波防災官 青木 元 氏



活動名	基本点検
実施日	令和8年4月8日（木）・20（月）
場所	仙台管理事務所 仙台東管理事務所

【内容】基本点検に参加

点検区間：仙台管理事務所管内 長者原SA ～ 築館IC
仙台東管理事務所管内 新地IC ～ 久保間



関東支部

活動名	基本点検
実施日	令和8年4月6日（月）～24日（金）
場所	京浜管理事務所 他

【内容】基本点検に参加

- ・ 常磐道 土浦北IC ～ 石岡小美玉SIC
- ・ 常磐道 千代田石岡IC～石岡小美玉SIC
- ・ 横浜新道 保土ヶ谷IC～ 藤塚 IC
- ・ 上信越道 上信越自動車道
- ・ 圏央道 あきる野IC～ 多摩川橋
- ・ 圏央道 狭山日高IC～ 圏央鶴ヶ島IC
- ・ 圏央道 圏央鶴ヶ島IC～ 鶴ヶ島JCT



跨線橋(谷向西橋)と立入防止柵の隙間が空いているため小動物等の侵入が懸念



千代田石岡6C-Box樋部の継ぎ目からの漏水

新潟支部

活動名	基本点検
実施日	令和8年5月13日(水)～14日(木)
場所	上越管理事務所

【内容】基本点検に参加

- ・上信越自動車道 信濃町IC～上越JCT



東京支部

活動名	基本点検
実施日	令和8年4月2日(木)～21日(火)
場所	横浜、富士、静岡、甲府、松本保全・サービスセンター

【内容】基本点検に参加

名古屋・金沢支部

活動名	講演会 講師
実施日	令和8年3月11日(水)
場所	金沢支社 富山保全・サービスセンター

【内容】

演題：北陸自動車道 石川・富山県境～朝日IC 間 ―維持管理へ建設アーカイブを知る―

講師：大窪 克己氏

経緯：若手社員に自分たちが管理している場所への理解を深めて欲しく、また基本点検の際に参考となるように北陸道建設時及び管理段階の課題や対応など防災エキスパートとして有している様々な現場経験と知識を伝授して欲しいという富山保全・サービスセンターの思いと、防災エキスパート会員としてNEXCO 事業に何かしら協力できないかと思っていた双方が基本点検時の今、若手社員に建設時の課題を解説することで、現場点検時に当時を知って点検に対する向上心も育まれるとの思いが一致して実施したもの



「若手社員に高速道路管理に誇りを持って!!」と激励と期待を伝える大窪氏



講演に聞き入る受講者

活動名	技術伝承活動表彰式
実施日	令和8年3月23日（月）
場所	西日本高速道路株式会社本社会議室

【内容】

防災エキスパートの「高速道路アーカイブプロジェクト」として、長年にわたり防災講演会や出前講座を通じた技術伝承、NEXCO西日本社内報「ふらっと」への投稿による情報発信、資料収集・整理・データベース化、さらに茨木技術研修センター（アイトレ）での展示など多岐にわたり貢献し、報道でも多数とりあげられるなどNEXCO西日本の企業価値向上にも寄与したことにより、令和8年3月23日、「高速道路アーカイブプロジェクト」がNEXCO西日本社長表彰を授与された。



活動名	技術伝承 アーカイブプロジェクト 活動15年のあゆみ の発刊
-----	--------------------------------

【内容】 技術伝承の一環として今までの防災エキスパートの活動のアーカイブプロジェクトのあゆみを一冊にまとめ発行



『高速道路アーカイブプロジェクト活動 15年のあゆみ』

目 次

- 1 『高速道路の歴史・文化・技術を伝承するアーカイブプロジェクト』の15年
 - 1.1 発刊にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
 - 1.2 アーカイブプロジェクト活動の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
 - 1.3 「物」が語る「そういえば・・・」話で歴史評価を・・・・・・・・・・5
 - 1.4 正史だけではつまらない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - 1.5 初代センター長の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - 1.6 現センター長の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - 1.7 現役社員の利用にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - 1.8 百年企業の宝を採りみなさまへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 2 アーカイブプロジェクト活動の位置付け及び枠組み
 - 2.1 アーカイブプロジェクト活動の位置付けと発案・・・・・・・・・・・・10
- 3 活動実績
 - 3.1 アーカイブプロジェクト活動の時系列・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
 - 3.2 資料の収集と活用状況
 - 3.2.1 アーカイブ資料の収集と活用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - 3.2.2 アーカイブ資料室の展示概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
 - 3.3 情報発信及び技術伝承活動
 - 3.3.1 NEXCO 西日本社内報「ふらっと」への投稿・・・・・・・・・・・・18
 - 3.3.2 NEXCO 西日本との共同企画「ふらハイウェイ」・・・・・・・・・・75
 - 3.3.3 エンジニアリング関西社内報「きろ・ぼすと」への投稿・・・・106
 - 3.3.4 「旬刊高速道路」掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
 - 3.4 関西地区防災講演会一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・149
 - 3.5 出前講演会（出前講座）一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・151



資料あり

会員専用サイトに全頁掲載していますのでぜひご覧ください
高速道路アーカイブプロジェクト（V o 1.1～6 付録）



資料あり

：防災エキスパート会員専用ページに資料を掲載しています。

活動名	支部会議
実施日	令和8年3月19日(木)
場所	ホテルガーデンパレス会議室

【内容】

- ・新任委員紹介
- ・各社の令和7年度活動実績報告と令和8年度活動計画
- ・新たな高速道路サポーターの勧誘、防災エキスパート（アーカイブ班）の勧誘
- ・防災エキスパートの活動事例の報告（高速道路調査会）を踏まえての意見交換
- ・運営委員会実施時期の調整
- ・総会の実施方法の意見交換（他組織における実施方法を高速道路調査会から紹介）
- ・「斜面防災こんな感じ」をタイトルとした講演会の開催



資料あり

活動名	技術伝承会
実施日	令和8年4月28日(火)
場所	西日本高速株式会社愛媛(高)管内 現地

【内容】N愛媛（高）アーカイブプロジェクト・講師

- ・松山道 三島川之江～土居間が開通して、40周年という節目の年を迎え、愛媛県内の高速道路に関しN若手社員を中心に先人達の建設・保全に込められた思いを取り纏め、次世代に語り継ぐことを目的とする。

- ①円山地区・地滑り対策（排水トンネル）
- ②大生院地区・災害復旧（グラウンドアンカー、軽量盛土）
- ③中山地区・多自然型護岸
- ④永木地区・地滑り対策
- ⑤日之地地区・急峻地形（崖、落石対策）



写-1 円山地区・地滑り対策(排水トンネル)



写-2 大生院地区・台風災害復旧後

活動名	支部会議
実施日	令和8年2月24日(火)
場所	西日本高速道路エンジニアリング九州 会議室

【内容】

- ・防災エキスパートの概要・活動報告
- ・R7 防災エキスパート運営連絡会の報告
- ・九州支部 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画
- ・九州支部の会員状況について
- ・出水期前基本点検の参加
- ・令和8年度 防災講演会の開催について
- ・その他連絡事項



資料あり



資料あり

:防災エキスパート会員専用ページに資料を掲載しています。

報告

令和7年度防災エキスパート運営連絡会・運営幹事会を開催

防災エキスパート制度では、①制度に関する情報共有や②運営に関する改善を目的として、「運営連絡会」と「運営幹事会」を毎年度開催しています。

令和7年度は以下のとおり開催しています。

令和7年度の実施状況を報告し、令和8年度の活動方針と活動計画を策定しましたので報告します。

防災エキスパート運営連絡会・運営幹事会

実施日	会議等名	構成等
R8. 1. 22(木)	運営幹事会	(幹事長) 支部エンジ会社社長※連絡会副委員長 (幹事) NEXCO課長(技術、事務)等、 支部エンジ会社(東・中・西エリアから各1社選出)部長等
R8. 2. 12(木)	運営連絡会	(委員長・副委員長) 支部エンジ会社(東・中・西エリアから各1社選出)社長等 (委員) NEXCO部長等、支部エンジ会社部長等

報告

令和7年度の防災エキスパート会員数と令和7年度活動実績

「防災エキスパート会員専用ページ」や本会報で各支部の活動が確認できますので参考にしてください。

令和7(2025)年度末時点

事務局支部	【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、【出】出前講座、技術講習会、【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練 【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等、【災】災害支援、【他】その他、【ボ】被災地ボランティア活動支援												
北海道						訓	講支⇒11月	支、講	点⇒中止			調⇒中止	
東北	点					訓	講					支、講⇒3月	支
関東	点					訓	講・支	調	講				
新潟		点	支、講	講		訓							
東京・八王子	点	点				訓	他⇒延期		他	支			他：現場見学会等
名古屋・金沢	他	講				講・訓	支・講	講		講⇒中止		講	他：ETCシステム障害で一宮DKCに自主参集
関西	調・他	調、支、講	調、出、他	調	調・他	訓・調	調・他	調	調・他	調	調・他	調	調：アーカイブ定例会 他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国		訓(参0)		研								支	
四国	出		調⇒7月	調⇒8月、防	調	訓	支、講・他	講				調⇒中止	
九州	調	調	講	出⇒中止	調⇒中止	訓⇒中止 講						支	支→点 4月予定の点検は、前年度3月に実施済
全体													
活動実績													0名
	21名	3名				14名	6名		19名				63名
	31名	83名	107名	40名	20名	110名	139名	66名	26名	60名	34名	79名	795名
	52名	86名	107名	40名	20名	124名	145名	66名	45名	60名	34名	79名	858名

高速道路サポーター会員数

令和8年6月1日時点

支部名	北海道	東北	関東	新潟	東京	名古屋	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	9	40	47	13	47	36	63	11	26	45	337
グループ会員	38	20	11	32	31	10	39	21	49	56	307
計	47	60	58	45	78	46	102	32	75	101	644

《活動方針》

- NEXCOグループの防災対応力の維持・向上のため、技術の伝承と限られた人的資源の活用の観点から、防災エキスパート制度を有効に活用していく。
- 防災エキスパート活動は、基本点検、防災訓練、意見交換会など平時の活動に軸足をおき、常に顔の見える関係の構築に努める。
- こうした関係の構築を前提として、有事の際に機能する防災エキスパート活動を目指す。

主な活動内容 NEXCO、支部、会員の方々のご協力をお願いします。

(1) 防災エキスパート制度の認知度向上および活動内容の理解促進 (NEXCO、事務局支部)

- 1) NEXCO 幹事および各事務局支部からエンジ以外のグループ会社に対しても支部会議の参加を呼びかける。
- 2) 支部会議にNEXCO幹事も可能な範囲で参加する。
- 3) 支部会議で防災エキスパート活動状況を報告 (事務局本部)
- 4) 会報の発行 (事務局本部)
- 5) 旬刊高速道路への記事掲載の推進 (事務局本部、支部)

(2) 防災エキスパートを含めた防災訓練 (NEXCO、事務局支部)

- 1) 防災訓練を各支社・1事務所以上で、机上または実働訓練を実施する。
- 2) 防災訓練において抽出された課題と対応案について各支部ごとにまとめて共有する。

(3) 平時の活動計画 (NEXCO、事務局支部)

- 1) NEXCO支社と事務局支部で、年1回程度、平時の活動計画等を共同企画し、顔の見える関係を構築し、課題の共有・対応に向けて取り組む。

(4) 本部・支部、NEXCO、会員との情報共有と連携強化 (NEXCO、事務局本部・支部)

- 1) 防災エキスパートデータベース(事務局専用)の継続運用
- 2) 会員専用ページの継続運用
- 3) 支部会議の講演会動画を共有する

(5) 会員の勧誘 (NEXCO、事務局本部)

- 1) NEXCO社員の出向、転籍、退職時に「申込書類」を渡し勧誘する。(NEXCO、各G会社)
- 2) G会社社員の退職時に「申込書類」を渡し勧誘する。(各G会社)
- 3) 既退職者に「申込書類」を渡し勧誘する。(NEXCO、各G会社)
- 4) 勧誘時に使用するパンフレットを更新しNEXCO窓口と各支部に共有する。(事務局本部)

(6) その他の取り組み

- 1) 現役社員の被災地ボランティア活動支援制度《令和3年度運用開始》(事務局本部)
- 2) 優良会員の表彰 (NEXCO、事務局支部)
- 3) 防災エキスパート制度のあり方の検討

※令和8年度から新規取り組み

令和8年度 各支部活動計画

2026年5月末時点

事務局支部	令和8年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道			調			訓	講・支					点 <small>(支社幹部)</small>	
東北	点					訓	講				支・講		
関東	点				調	訓・調	支・講・他	調	調				調：地域災害対策連絡会 他：現場見学会
新潟		点	支・講		訓								
東京	点	他				訓			支・講				他：現場見学会
名古屋・金沢		研		講		訓・講	支・講	講		講			
関西	調・他	調・支・講	調・他	調	調・他	訓・調	調・他	調・出	調・他	調	調・他	調	調：アーカイブ定例会 他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国		訓		研		訓						支	
四国			調	訓	調	訓	支・講・他					調	勉強会を適宜実施予定
九州	点・調	調	講	出	調	訓						支・点	

凡例：【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、【出】出前講座、技術講習会、【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練
 【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等、【災】災害支援、【他】その他、【ボ】被災地ボランティア活動支援

被災地ボランティア活動の支援制度

従前より、平常時の活動として防災エキスパート会員の被災地ボランティア活動へ支援を行っていますが、加えて令和3年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援も運用しています。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員

【対象場所】 安全が確保されている活動の場であること

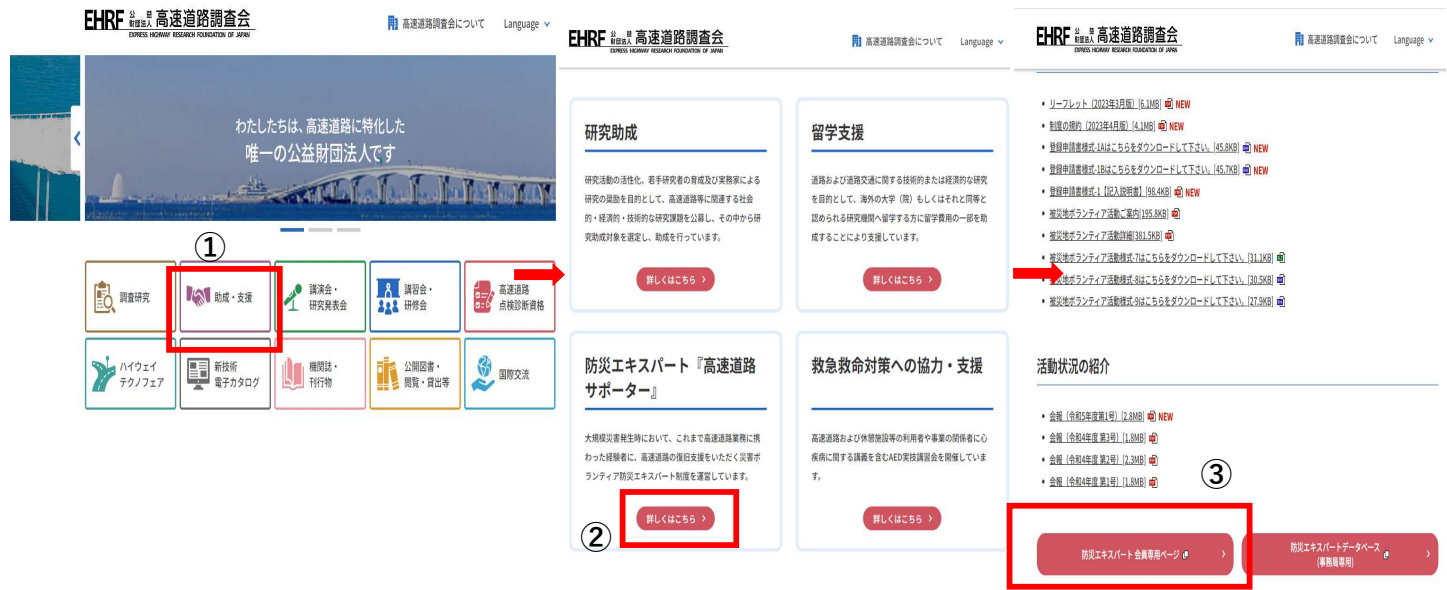
例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること

【活動区分】 独自で行うもの

支部等が企画したボランティア活動に参加するもの

【手続方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きは、高速道路調査会ウェブサイトを確認下さい。申込窓口は、事務局支部です。

会員専用サイトからご自身の登録情報を確認、更新が可能です。(R7.4.1～)
 その際会員番号IDが必要になります。ご不明な方は登録支部窓口までお問い合わせください。



求む!

防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみならず、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたくお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲載し、全国の会員その他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階
 高速道路調査会
 防災エキスパート事務局本部

E-mail: bousaiaex@express-highway.or.jp

編集後記

事務局本部の市川です。

日頃より、防災エキスパート活動にご協力いただきありがとうございます。また、支部の皆様におかれましても支部活動等ご尽力いただき感謝申し上げます。

令和8年度の活動方針といたしましては、活動のさらなる推進に向け、各支部で実施されている講演会の動画を会員専用HPで公開し、他支部の情報を共有できるようにいたしました。

早速、6月に開催した新潟支部大会での講演会を共有しています。

また、関西支部で15年間にわたり活動されていたアーカイブプロジェクトの活動の歩みにつきましても掲載しています。

今後とも各支部と協力しながら防災エキスパート活動の活性化を図ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

- ・ 災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
- ・ 基本点検、防災訓練、意見交換会等の交流活動から！！